

会 務 月 報

第425号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■平成30年6月通常理事会議事概要

1. 日 時 平成30年6月5日（火）

14:00～16:20

2. 場 所 日事連会議室

3. 理事総数及び出席理事数 総数31名、出席数29名

4. 出席者及び欠席者の氏名

出席者

会 長 佐野吉彦

副 会 長 富岡 學、佐々木宏幸、栗原憲昭、遠藤正幸、
岩本茂美

専務理事 居谷献弥

常任理事 伊藤光洋、植村吉延、栗原信幸、堂田重明、
新沼義雄

理 事 相場 博、秋野卓生、大谷秀逸、金子敏夫、
神田重信、栗田政明、児玉耕二、小林忠志、
澤木英二、鈴木兼次、鈴木勇人、西尾信次、
宮原浩輔、八島英孝、山木 茂、横須賀満夫、
吉田 敏

監 事 宮原克平、山下卓治

事 務 局 前田敏明事務局長、鈴木雅之広報企画担当課長、
千浜民子業務課長、伊東眞理総務課長、吉田茂調
査役

欠席者

常任理事 岡村則満

理 事 富田 裕

5. 議 事

(1) 議長の選任

佐野吉彦会長が議長に選任された。

(2) 議事録署名人の確認

定款第45条第2項の規定により、議事録署名人は以下の
者であることが確認された。

佐野吉彦会長、宮原克平監事、山下卓治監事

(3) 議決事項

1) 第66回定時総会議題の承認の件

①平成29年度事業報告

各常置委員会委員長及び居谷専務理事より、資料1の
うち報告事項1の平成29年度事業報告について、会議
報告、事業概要、総務・財務、教育・情報、業務・技術、
広報・渉外、指導運営、熊本地震、基本問題検討、景観・
まちづくり、住宅金融支援機構適合証明業務、対外協力、
会員動静、指定事務所登録機関登録状況、青年部会等設
置状況及び機構に関するそれぞれの内容の説明がなされ
た。

八島理事より、広報・渉外に関する報告のうち、日事
連建築賞の受賞作品と受賞事務所の記載欄の誤りが指
摘され、修正することとした。

②平成29年度公益目的支出計画実施報告

居谷専務理事より、資料1のうち報告事項2の平成
29年度公益目的支出計画実施報告について、公益目的
支出額が1億1,273万円余、実施事業収入額が6万
円余で、公益目的財産残額がマイナスとなったため、内
閣府の認可により、計画どおり平成29年度で公益目的
支出計画が完了する見込みであるとの説明がなされた。

続いて、宮原監事より、平成29年度公益目的支出計
画実施報告について監査報告がなされた。

③平成29年度決算承認の件

居谷専務理事より、資料1のうち第1号議案に該当す
る一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の平成
29年度決算案について説明がなされた。

続いて、宮原監事より、平成29年度決算案について

監査報告がなされた。

④任期満了に伴う役員改選の件

居谷専務理事より、資料1のうち第2号議案に該当する役員選任数等について説明がなされた。

議長より、以上の4つの議題について諮ったところ、第66回定時総会で報告事項及び議案として提案することを承認した。

2) 第66回定時総会等のスケジュール及び運営の承認の件

事務局より、資料2によって6月26日に銀座東武ホテルで行う第66回定時総会及び第129回建築士事務所協会全国会長会議等のスケジュール及び運営について説明がなされた。

議長より、第66回定時総会及び第129回建築士事務所協会全国会長会議等のスケジュール及び運営について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

3) 第42回建築士事務所全国大会（東京開催）の実施要項の承認の件

事務局より、資料3により次の趣旨の説明がなされた。

10月5日10時から13時に、TKP新橋カンファレンスセンターで青年話創会を実施し、13時30分からは、帝国ホテルで大会式典、日事連建築賞作品展示、記念パーティの他、AI等に関する講演またはシンポジウムを開催する予定としている。大会テーマは「未来に繋ぐ」、講演の講師等については調整中、収支予算額は1,870万円である。

全国大会実行特別委員長の佐野会長より、講演・シンポジウムの内容は、IT・リノベーションを想定し青木茂氏に声をかけている。会員にとって希望のある内容にしたいと考えているとの発言がなされた。

議長より、第42回建築士事務所全国大会（東京開催）の実施要項について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

4) 第44回建築士事務所全国大会（福井大会）の日程及び会場の承認の件

事務局より、資料4によって次の趣旨の説明がなされた。

平成32年度の第44回建築士事務所全国大会は、福井会を主管会として開催することが決定していたが、今般福井会より、平成32年10月9日に、大会式典をフェニックス・プラザ（福井市民福祉会館）、パーティをザ・グランユーアーズフクイで実施したいとの計画が提出された。

議長より、第44回建築士事務所全国大会（福井大会）の日程及び会場について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

5) 会員増強単位会表彰の承認の件

佐々木副会長より、資料5によって次の趣旨の説明がなされた。

正副会長及び総務・財務委員長で構成する会員増強単位会表彰審査委員会で、平成29年度の各単位会の会員増加率及び増加数を勘案し、京都会、鳥取会、愛媛会及び東京会を表彰対象とした。表彰は10月の全国大会で行う予定である。なお、登録事務所に対する加入率が30%弱と高い長崎会及び佐賀会は、表彰対象ではないが、表彰の際に紹介することとした。30%を目安に紹介するのは、事務所協会への強制加入の議論は、国交省は加入率30%以上になってからと非公式に言っていたからである。

議長より、会員増強単位会表彰の実施について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

6) 法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会の設置の承認の件

佐々木副会長より、資料6によって次の趣旨の説明がなされた。

建築士事務所の業務環境改善WGで組織体制について他団体も参考に検討したところ、日事連には法制度及び災害に対応する委員会等が欠けていた。そこで、短期的には、新設法規・制度の検討・研究及び建築士試験制度の具体的見直しを行い、中長期的には、現行法規・制度の検討・研究及び建築基本法の検討・研究を行い、建築業法の立法に繋げるため、法制度対応特別委員会の設置を提案する。将来的には、建築士事務所の単位会への強制加入を目標に、建築基本法の立

法等による建築基準法及び建築士法の整備並びに建築業法立法の研究を進める。また、我が国は絶えず地震等による災害に晒されており、災害対策特別委員会を設置し、平時から大規模災害発生に備えたい。

議長より、法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会の設置について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

7) 適合証明技術者の新規・更新登録受付の実施の承認の件

平成30年度は「適合証明技術者」の新規・更新登録の時期に当たり、受付事務及び講習を実施する。なお、平成32年度より既存住宅状況調査技術者講習の登録期間と合わせるため、有効期限を、従来の2年後の9月末から、2年半後の3月末に変更する。前回は、既存住宅現況検査技術者講習と同日開催としたが、既存住宅状況調査技術者講習制度が発足したため、同日講習は実施しない。登録料、受講料及びテキスト代は、据え置きとしたい。

議長より、適合証明技術者の新規・更新登録受付の実施について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

8) 平成30年度建築士事務所キャンペーンの実施の承認の件

植村広報・渉外委員長及び事務局より、資料8によって次の趣旨の説明がなされた。

法定団体としての単位会・日事連の役割、会員である建築士事務所の業務等の重要性及び改正建築士法の内容を一般消費者に周知するとともに、会員増強に向けた活動を行うことを目的にキャンペーンを実施する。今年度もキャンペーン事業の実施経費として、上限10万円を単位会に助成する。単位会には、「国民への周知パンフレット」、「安心して家を建てるには」並びに文言を過去形に改訂した「建築主向け建築士法改正に係わるパンフレット」及び「建築士向け建築士法改正に係わるパンフレット」の4種類を提供する。

議長より、平成30年度建築士事務所キャンペーンの実施について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

(4) 報告事項

1) 建築士資格制度の改善にかかわる三会共同要望書の提出について

居谷専務理事より、資料9によって次の趣旨の報告がなされた。

建築士の高齢化の進展等により、建築士のリタイアや建築士事務所の廃業がより一層増加することが予想される一方で、将来を担う世代の建築士の確保が懸念される状況にある。将来を見据え、若手建築士の確保・育成が急務となっている。建築士試験の受験者が減少傾向にあるが、受験要件や資格獲得の見通しの不透明さ等がその要因と考えられるため、建築士を目指す若者に、より早期に、より見通しを持って建築士の資格を取得することができるよう、建築士資格制度の改善を図る必要がある。内閣提案では整合性が取りにくいいため、議員立法で進めたい。五会会長会議で報告し、概ね賛成された。今般、建築三会で資料のとおり共同要望をまとめ、本日に開催された自民党建築設計議員連盟の総会に提案したところである。今後、単位会とも協力し、議連所属議員の他、衆参の国土交通委員会委員に提案内容を説明し、早期の建築士法改正を働きかけたい。

2) 平成29年度建築士定期講習のインセンティブ配賦結果について

堂田教育・情報委員長より、資料10によって次の趣旨の報告がなされた。

建築技術教育普及センターより平成29年度建築士定期講習のインセンティブ配賦の判定結果の連絡があり、上位から順に、徳島、香川、石川、滋賀、熊本、大分及び千葉の7県であった。これら上位の単位会がどのような受講者増加対策に取り組んだのか同センターでアンケートを行ったところ、会誌・メルマガ等を活用した周知、来訪者等に受講案内チラシの配布、開催回数の増加、開催地の拡大、廉価な会場検索等であった。

3) プロポーザル方式における技術提案の視覚的表現の取扱いについて

居谷専務理事より、資料11によって次の趣旨の説明がな

された。

プロポーザル方式における技術提案の視覚的表現の取扱いについては、国交省官庁営繕部の運用により視覚的表現の許容範囲を具体例で示されてきたが、具体例の作成から20年以上が経過し、CAD等で作成することが一般化した。公共建築設計懇談会において建築三会からも意見提出を行い、今般、見直され、平成30年4月3日以降に発注手続を開始するプロポーザルから適用されることとなった。国交省からは、苦心惨憺してまとめたと聞いている。

横須賀理事より、一般の事務所からも意見を聞いたのか、プロポーザルで設計料の提出を求められる機会が多いがどのように考えるかとの発言がなされ、佐野会長から、公共建築設計懇談会で建築三会の代表者が意見を述べたこと及び佐々木副会長から設計料の提出についてはそぐわないと官庁営繕部では文書化されている旨回答がなされた。

4) 告示第15号改正実態調査(アンケート)結果の概要について

佐々木副会長及び居谷専務理事より、資料12によって次の趣旨の説明がなされた。

2月から4月にかけて実態調査がWebにより行われ、調査対象1,426事務所のうち658事務所より回答があり、回収率は46%であった。略算表を作るには十分な量と聞いている。5月から実態調査結果の集計・分析が開始され、5月23日の検討委員会では、実態調査の分析プロセス及び経費率について検討が行われた。8月下旬には中央建築士審査会で告示改正案の審議がなされ、10月にパブリックコメントの実施、年内には告示・技術的助言の公布・発出がなされる予定である。告示第15号は、床面積1,500㎡から5,000㎡をはずれたところに問題があったが、国交省の担当官によると、今回の改正で改善される見込みであるとのこと。

5) 建築設計業務委託の進め方の公表について

居谷専務理事より、資料13によって次の趣旨の説明がなされた。

公共建築工事の設計業務委託においては、透明性・公平性を確保した上で、それぞれの工事に最も適した設計者を選定する必要がある。この点について「官公庁施設整備における発注者のあり方について」答申に公共建築工事の発注者の役割の一つとして改めて透明性・公平性を確保した上で、それぞれの工事に最も適した設計者を選定する必要があることが示された。これを踏まえ、全国営繕主管課長会議(国土交通省、都道府県及び政令市で構成)において、適切な設計者選定を行うための解説書「建築設計業務委託の進め方」を作成した。同解説書は、全国の公共建築工事の発注者が設計者選定を行う際のマニュアルとして活用できるよう、業務委託の流れに沿って解説している。

6) 日本学術会議提言「公共調達における知的生産者の選定に関わる法整備」について

居谷専務理事より、資料14によって次の趣旨の説明がなされた。

日本建築学会元会長の仙田満氏より、知的生産者の公共調達に関する日本学術会議提言に基づいて、学協会連絡協議会を立ち上げるため、その準備会への参加要請がなされた。日事連として参加する方向で考えている。

7) 会員・構成員異動報告

事務局より、資料15によって平成30年3月及び4月の各月の会員及び構成員数等の報告がなされた。

<配付資料>

資料1：第66回定時総会議案書

資料2：第66回定時総会及び第129回建築士事務所協会全国会長会議等のスケジュール及び運営について(案)

資料3：第42回建築士事務所全国大会(東京開催)実施要項(案)

資料4：平成32年度第4回建築士事務所全国大会について

資料5：会員増強単位会表彰について

資料6：法制度対応特別委員会及び災害対策特別委員会の設置について

資料7：適合証明技術者新規・更新登録の受付と講習の実施について

資料8：平成30年度建築士事務所キャンペーンの実施について

資料9：建築士資格制度の改善に関する共同提案他

資料10：平成29年度建築士定期講習実施等業務委託費の加算精算（インセンティブ配賦）の判定結果他

資料11：技術提案における視覚的表現の取扱いについて

資料12：第6回建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準検討委員会資料等

資料13：全国営繕主管課長会議「建築設計業務委託の進め方（概要）」他

資料14：提言「公共調達における知的生産者の選定に関わる法整備」

資料15：会員・構成員異動報告等

■会誌編集専門委員会議事概要

日 時 平成30年6月11日（月）15：00～16：50

場 所 日事連会議室

出席者 副委員長 小泉 厚

委 員 宇塚幸生、佐藤光良、鈴木 剛、三谷滋伸、
丸川眞太郎

広報・渉外委員長 植村吉延

オブザーバー（株）ジェイクリエイト - 城市奈那、
井手真梨子

事務局：居谷専務理事、前田、鈴木、三浦、安藤

<配布資料>

資料1：平成30年7月号台割

資料2：平成30年8月号～10月号台割

資料3：新特集提案（佐藤委員）

参考1：BOOK REVIEWの掲載について

参考2：平成30年度 年間台割表

議 事

1. 前回委員会以降発行の会誌5月号・6月号の掲載内容についての意見交換

会誌5・6月号の掲載内容について、各委員より感想を述べ意見交換を行った。

<5月号>

・「建築士事務所の未来」については、今後も定期的に取り上げて欲しい。

・会員事務所の労働環境等に関する実態調査のアンケート結果がわかりやすく、参考になった。

・青年話創会の記事は、青年部会の立ち上げを検討している単位会にとって参考となるため、これからも継続して掲載して欲しい。

・「美術館・博物館巡り」では、八ヶ岳美術館を改めて見ることができて良かった。

<6月号>

・特集は写真が多く、また内容もわかりやすくて良かった。

・苦情解決事例紹介は参考になるため、今後も継続して掲載して欲しい。

2. 7月号特集等の編集報告

ジェイクリエイトおよび事務局から、間もなく発行される7月号の編集内容について以下のとおり説明がなされ、確認した。（資料1）

・特集は「風と建築」

風を生かした建築を紹介するほか、防風対策やコンピュータシミュレーション等に関するインタビュー記事、都市計画における「風の道」の役割について掲載する。

・連載として、「日事連建築賞受賞事務所訪問」では竹中工務店（北葉楼札幌本館）、前静岡会会員による「住宅・省エネレポート」、宇塚委員による「美術館・博物館巡り（新宿区立漱石山房記念館）」、日事連発信にて適合証明技術者の案内・第42回全国大会（東京開催）概要・建築士資格制度の改善に関する共同提案について掲載する。

・表紙は「Wind and Water Café」とした。

3. 8月号以降の特集等掲載内容の確認、検討

ジェイクリエイトおよび事務局から説明がなされ、協議した。

（資料2）

○8月号

・特集は「石材適所」

世界の石や最新の石のトレンドなど現代の石事情につい

て取材記事を掲載するほか、石を使った印象的な建築について会員投稿を掲載する。

- ・連載として、神奈川会会員による「景観・まちづくり地域探訪」、神奈川会会員による「日事連フォーラム」、日事連発信にて「平成30・31年度新役員紹介」、大阪会会員による「美術館・博物館巡り（高知県立高知城歴史博物館）」等を掲載予定。

○9月号

- ・特集は「音楽と建築」

専門家による音楽ホールの歴史や変容の解説、音響設計や舞台演出に関する取材記事を掲載予定。

- ・連載として、千葉会会員による「建築士の休日」、神奈川会会員による「景観・まちづくり地域探訪」、前静岡会会員による「住宅・省エネレポート」、静岡会会員による「美術館・博物館巡り（富士山世界遺産センター）」等を掲載予定。

○10月号

- ・特集は「平成30年度日事連建築賞」

受賞作品の発表、審査講評、単位会主催の建築賞・コンクールについて掲載する。

- ・連載として、茨城会会員による「建築士の休日」、神奈川会会員による「日事連フォーラム」、小泉副委員長または佐藤委員による「美術館・博物館巡り」等を掲載予定。

4. 特集・連載企画等の検討

佐藤委員から特集案について説明がなされ、協議した。

(資料3)

○1964年東京五輪について

若者や地方の会員の中には、東京オリンピックの建物が今でも使われていることを知らない人がいると考えられるため、2020年東京オリンピックへ向けて競技場の完成時期を目途に取り上げてはどうか。(2019年8月号または9月号)

<意見>

- ・2015年4月号の特集で東京五輪について1度取り上げ

ているため、別の視点から取り上げてはどうか。

- ・元号が平成から変わるため、業界の流れ等も含めた平成の特集をやってはどうか。

5. その他

○「BOOK REVIEW」の掲載について

委員の推薦図書について、今後掲載することとした。

○編集後記について

8月号：小泉副委員長、事務局

9月号：丸川委員、事務局

10月号：宇塚委員、事務局

※以降の掲載については、新委員を含めて次回の委員会にて協議することとした。

○次回日程

9月7日(金) 15:00～17:00 (日事連会議室)

■第1回日事連建築賞選考委員会議事概要

日時 平成30年6月7日(木) 13:00～17:00

場所 日事連会議室

出席者 委員長 富永譲

委員 網野禎昭、石堂威、作山康、陶器二三雄、横須賀満夫、眞鍋純(代理：伊東真理子)

事務局 居谷専務理事、前田、三浦、安藤

議事

(1) 募集要項について

事務局から、資料2により本年度の募集要項について昨年からの変更点を中心に説明し確認した。

来年度の募集要項については、第2回委員会にて協議することとした。

(2) 今年度の応募状況について

事務局から、資料3により本年度の応募作品について報告がなされた。

○1次審査応募作品数

152作品 内訳：一般建築部門63作品、小規模建築部門89作品

○2次審査応募作品数

26単位会、49作品

- (3) 国土交通大臣賞、日事連会長賞、優秀賞及び奨励賞の各賞候補作品の選考

書類審査後、優秀賞候補等作品を各委員から記名方式により一般・小規模建築部門各9作品ずつ投票を行った。

意見交換ののち、一般建築部門9作品、小規模建築部門9作品を選出し、検討の結果、そのうち一般建築部門5作品、小規模建築部門5作品について現地審査を実施することとした。

- (4) 今後の選考スケジュール

現地審査は6月18日（月）～8月3日（金）で実施する。

- (5) 第2回委員会

平成30年8月3日（金）15:00～17:00

日事連会議室

■主な行事予定

※行事日程は中止・変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

平成30年

8月28日 全国大会実行特別委員会

9月6日 正副会長会

常任理事会

7日 会誌編集専門委員会

14日 総務・財務委員会

平成30年7月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 平成30年7月1日～7月31日
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,774事務所
 賛助会員 6社

単位会	構成員		建築士事務所登録			賠償責任保険	
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道		1,019	4,406	23.1%		265	26.0%
青 森	+ 1	181	953	19.0%	+ 1	41	22.7%
岩 手	+ 1	266	943	28.2%		68	25.6%
宮 城		349	2,016	17.3%		74	21.2%
秋 田		147	971	15.1%		46	31.3%
山 形		181	1,163	15.6%		55	30.4%
福 島		239	1,619	14.8%		67	28.0%
茨 城		496	2,010	24.7%		159	32.1%
栃 木		176	1,386	12.7%		83	47.2%
群 馬		185	1,717	10.8%		93	50.3%
埼 玉		498	4,884	10.2%	+ 1	127	25.5%
千 葉	- 1	390	3,456	11.3%	+ 1	113	29.0%
東 京	- 2	1,590	15,207	10.5%	+ 1	551	34.7%
神奈川	- 3	776	6,135	12.6%	+ 1	201	25.9%
新 潟	- 1	311	2,308	13.5%		135	43.4%
長 野		418	2,150	19.4%		115	27.5%
山 梨		109	844	12.9%		9	8.3%
富 山		309	1,234	25.0%		59	19.1%
石 川		307	1,301	23.6%		56	18.2%
福 井		224	970	23.1%		53	23.7%
静 岡		419	3,156	13.3%	+ 2	128	30.5%
愛 知	+ 1	557	5,118	10.9%		137	24.6%
三 重	+ 2	182	1,181	15.4%		62	34.1%
滋 賀		181	1,157	15.6%	+ 1	35	19.3%
京 都		351	2,201	15.9%		96	27.4%
大 阪		792	6,478	12.2%		208	26.3%
兵 庫		412	3,573	11.5%		104	25.2%
奈 良		104	932	11.2%		21	20.2%
和歌山		129	778	16.6%		25	19.4%
鳥 取	+ 1	104	484	21.5%		45	43.3%
島 根		119	601	19.8%		61	51.3%
岡 山		384	1,490	25.8%		66	17.2%
広 島		343	2,341	14.7%	+ 1	133	38.8%
山 口		111	1,062	10.5%		37	33.3%
徳 島		105	851	12.3%		14	13.3%
香 川		95	1,094	8.7%		18	18.9%
愛 媛		167	1,188	14.1%		40	24.0%
高 知		140	622	22.5%		28	20.0%
福 岡		469	3,662	12.8%	- 1	153	32.6%
佐 賀	+ 1	183	581	31.5%		38	20.8%
長 崎		251	859	29.2%		42	16.7%
熊 本		229	1,401	16.3%		98	42.8%
大 分	+ 2	157	903	17.4%		38	24.2%
宮 崎		116	1,003	11.6%		50	43.1%
鹿児島		311	1,243	25.0%	+ 1	82	26.4%
沖 縄		192	1,284	15.0%		63	32.8%
計	+ 2	14,774	100,916	14.6%	+ 9	4,192	28.4%

※建築士事務所登録数は平成30年4月1日時点の数字である。